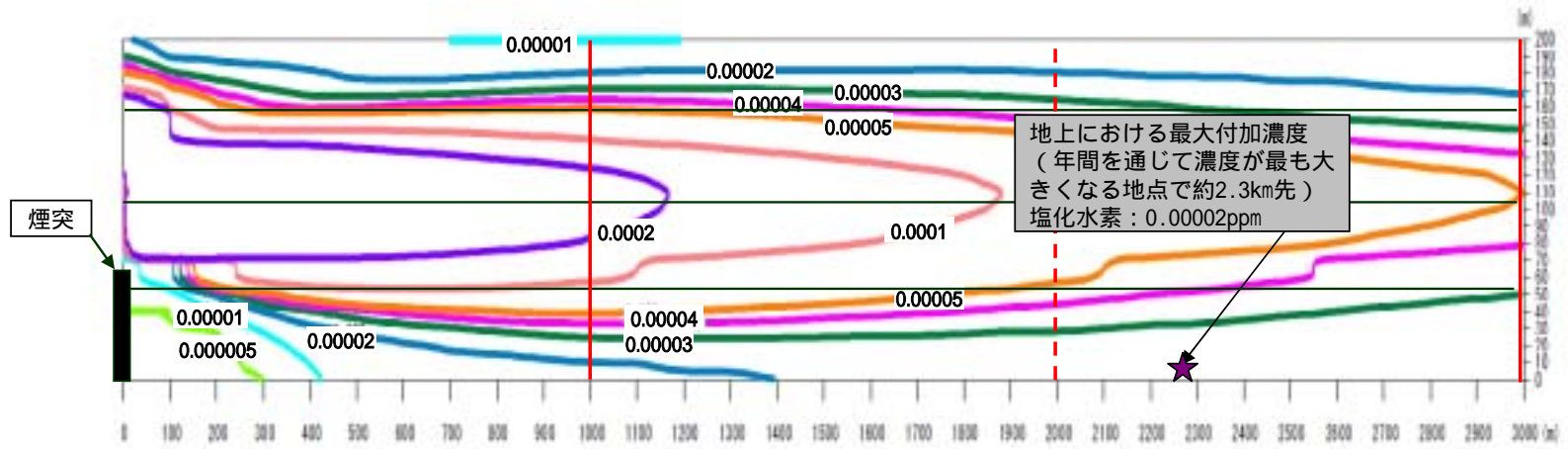
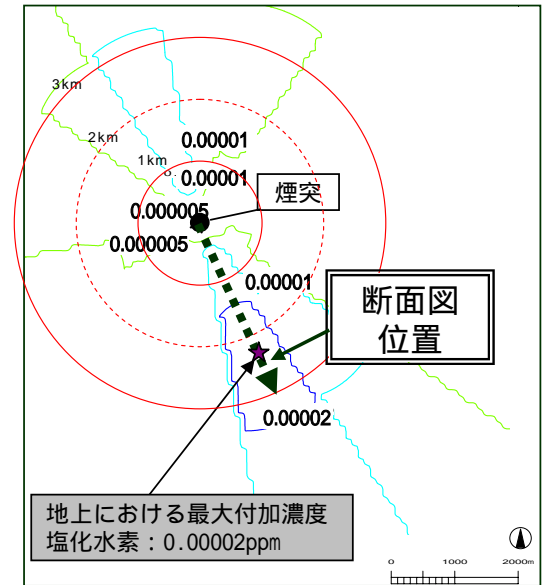


2. 排ガス拡散シミュレーション

(1) 煙突高さを59mとした場合

<いおう酸化物・塩化水素の拡散シミュレーション結果>

(排出濃度10ppm / 煙突高さ59m)



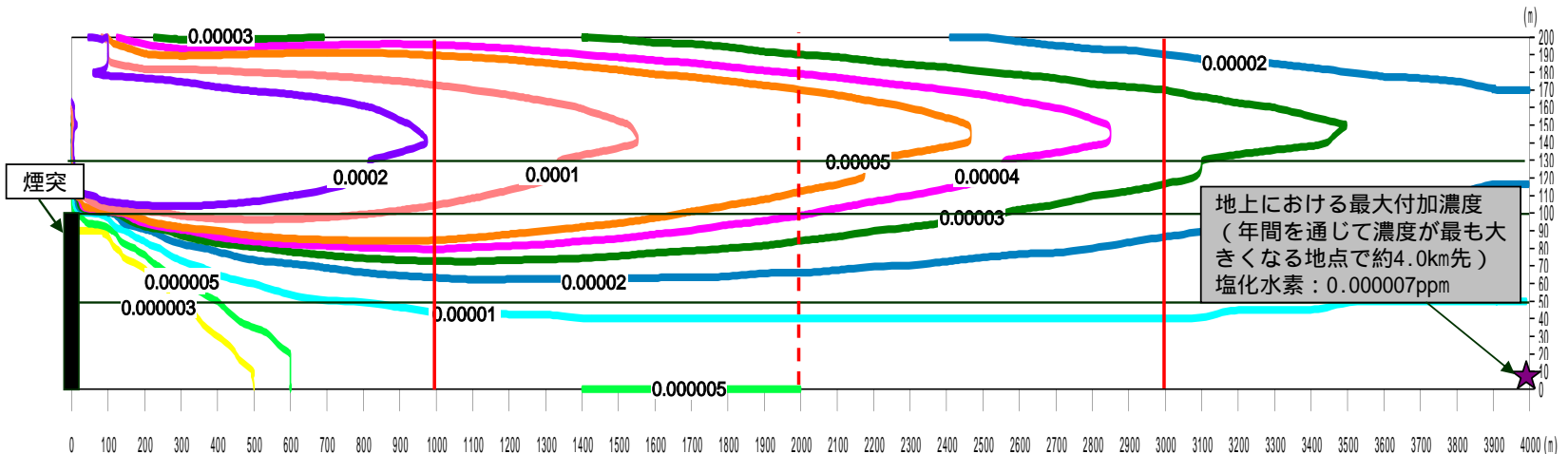
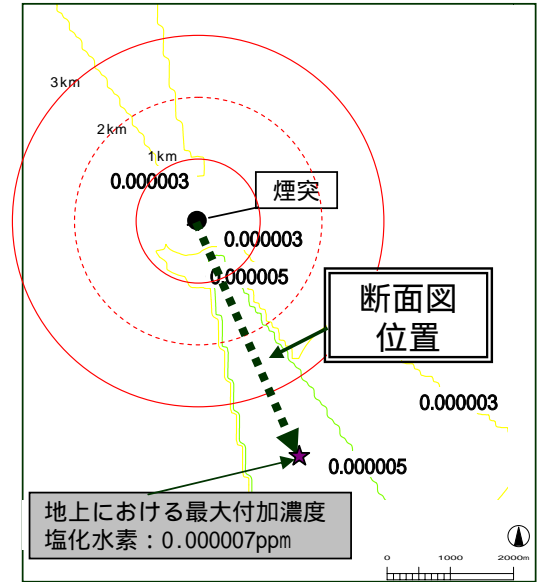
* 計算ソフト「環境予測プログラムシリーズ固定発生源大気汚染 長期濃度予測プログラム」
(システム環境計画コンサルタント(株) 現社名(株)総合環境計画)

2. 排ガス拡散シミュレーション

(2) 煙突高さを100mとした場合

< いおう酸化物・塩化水素の拡散シミュレーション結果 >

(排出濃度10ppm / 煙突高さ100m)



* 計算ソフト「環境予測プログラムシリーズ固定発生源大気汚染 長期濃度予測プログラム」
(システム環境計画コンサルタント(株) 現社名(株)総合環境計画)

参考資料1.環境アセスメントとは



1-5.生活環境影響調査における調査項目（焼却施設）

「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）」に示される生活環境影響調査の標準的な調査項目は、下表のようになります。

生活環境影響調査項目例(焼却施設)

調査事項	生活環境影響要因		煙突排ガスの排出	施設排水の排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
	生活環境影響調査項目						
大気環境	大気質	二酸化硫黄 (SO ₂)	○				
		二酸化窒素 (NO _x)	○				○
		浮遊粒子状物質 (SPM)	○				○
		塩化水素 (HCl)	○				
		ダイオキシン類	○				
		その他必要な項目 注)	○				
	騒音	騒音レベル			○		○
振動	振動レベル			○		○	
水環境	水質	特定悪臭物質濃度 または臭気指数 (臭気濃度)	○			○	
		生物化学的酸素要求量(BOD) または化学的酸素要求量(COD)		○			
		浮遊物質 (SS)		○			
		ダイオキシン類		○			
		その他必要な項目 注)		○			

注) その他必要な項目とは、処理される廃棄物の種類、性状及び立地特性等を考慮して、影響が予測される項目である。

たとえば、大気質については、煙突排ガスによる重金属類などがあげられ、また、水質については全窒素 (T-N)、全リン (T-P) (T-N、T-Pを含む排水を、それらの排水基準が適用される水域に放流する場合)などがあげられる。

参考資料1.環境アセスメントとは



1-5.生活環境影響調査における調査項目（破碎・選別施設）

生活環境影響調査項目例(破碎・選別施設)

調査事項		生活環境影響要因	施設排水の排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
		生活環境影響調査項目				
大気環境	大気質	粉じん		○		
		二酸化窒素 (NO ₂)				○
		浮遊粒子状物質 (SPM)				○
	騒音	騒音レベル		○		○
	振動	振動レベル		○		○
	悪臭	特定悪臭物質濃度 または臭気指数 (臭気濃度)			○	
水環境	水質	生物化学的酸素要求量(BOD) または化学的酸素要求量(COD)	○			
		浮遊物質 (SS)	○			
		その他必要な項目 注)	○			

注) その他必要な項目とは、処理される廃棄物の種類、性状及び立地特性等を考慮して、影響が予測される項目である。

たとえば、全窒素 (T-N)、全リン (T-P) (T-N、T-Pを含む排水を、それらの排水基準が適用される水域に放流する場合) 等があげられる。